



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月11日

上場会社名 ゼット株式会社

上場取引所 東

コード番号 8135 URL <https://zett.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 裕之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 林 賢志

TEL 06-6779-1171

四半期報告書提出予定日 2019年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	21,841	3.4	391	18.2	435	9.8	343	14.4
2019年3月期第2四半期	21,116	6.0	331	45.3	396	40.4	300	45.3

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 352百万円 (%) 2019年3月期第2四半期 728百万円 (98.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	17.55	
2019年3月期第2四半期	15.34	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	22,441	9,858	43.9	503.62
2019年3月期	23,532	10,309	43.8	526.64

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 9,858百万円 2019年3月期 10,309百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		5.00	5.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年3月期 期末配当金の内訳 普通配当2円00銭 特別配当3円00銭

2020年3月期 期末配当金の内訳 普通配当2円00銭 特別配当3円00銭

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,000	1.5	600	6.8	690	5.9	520	27.1	26.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	20,102,000 株	2019年3月期	20,102,000 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	527,004 株	2019年3月期	526,932 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	19,574,996 株	2019年3月期2Q	19,575,147 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善により緩やかな景気回復基調が続いております。一方、通商問題の動向が与える影響懸念や不安定な海外情勢等により先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中で当社グループは、「成長戦略」として①自社品事業の強化、②アスレチックビジネスの深化、③ライフスタイルビジネスの進化、④主力ブランドの再強化、⑤EC市場での多面的対応、⑥新事業・新商品・特に新規販路・新サービスの開発とチャレンジに取組み、「構造改革」として①利益率の向上、②経営の生産性の向上、③物流改革に取組みました。また、「体質強化」として①人財と組織の活性化、②グループの一体化に取組みました。この方針のもとグループ一丸となり、企業価値向上並びに業績向上に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は21,841百万円(前年同期比3.4%増)、営業利益は391百万円(前年同期比18.2%増)、経常利益は435百万円(前年同期比9.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は343百万円(前年同期比14.4%増)となりました。

部門別の業績は、次のとおりであります。

(卸売部門)

卸売部門は、「外商・スクール」及び「アスレチック」マーケットは、競技シューズ、サッカー用品が苦戦したものの、野球・ソフトボール用品が前期から引き続き堅調に推移しました。「ライフスタイル」マーケットは、取扱いブランドの増加等によりカジュアルウェア、カジュアルシューズが堅調に推移しました。また、アウトドア用品は、人気の高まりもあり堅調に推移しました。「ボディケア」マーケットは、低調に推移しました。また、指定管理事業は、イベントの開催等により堅調に推移しました。

この結果、売上高は20,895百万円(前年同期比3.4%増)となりました。

(製造部門)

製造部門は、収益力の高い企業体質を構築し、企業価値向上に努めました。野球・ソフトボール用品は、オーダーグラブが前期より引き続き堅調に推移しました。また、キャッチャー用防具やヘルメット、ソックスが高評価を得ており、引き続き開発に取り組んでおります。「コンバース」のバスケットボール用品においては、新マーケティングシステムの導入によりチームオーダー商品等は高評価を得ましたが、総じて低調に推移しました。

なお、株式会社ゼノアは2019年3月にゼット株式会社へ吸収合併しております。

この結果、売上高は168百万円(前年同期比7.9%減)となりました。

(小売部門)

小売部門は、登山用品ECサイト「PREMIUM SHOP」はインターネット販売購入者の増加が続いており、前期より引き続き堅調に推移しました。店頭ではアウトドアウェアが堅調に推移しました。

この結果、売上高は235百万円(前年同期比10.6%増)となりました。

(その他部門)

スポーツ施設運営部門は、社員教育、企画、販促活動等による顧客満足度向上に努めましたが、近隣の競合店との競争激化が続いており低調に推移しました。物流部門において、外部受託業務における取扱いを増加させたことにより堅調に推移しました。

この結果、売上高は541百万円(前年同期比4.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は17,345百万円となり、前連結会計年度末に比べ139百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が711百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が819百万円減少したことによるものであります。固定資産は5,095百万円となり、前連結会計年度末に比べ951百万円減少いたしました。これは主に投資有価証券が976百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は22,441百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,091百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は10,626百万円となり、前連結会計年度末に比べ301百万円減少いたしました。これは主に賞与引当金が126百万円増加したものの、電子記録債務が151百万円、その他が144百万円及び未払法人税等が59百万円減少したことによるものであります。固定負債は1,956百万円となり、前連結会計年度末に比べ338百万円減少いたしました。これは主に繰延税金負債が313百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は12,583百万円となり、前連結会計年度末に比べ640百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計年度末における純資産合計は9,858百万円となり、前連結会計年度末に比べ450百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金が245百万円増加したものの、その他有価証券評価差額金が687百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は43.9%（前連結会計年度末は43.8%）となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ711百万円増加し、4,397百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は1,020百万円（前年同期比241百万円減）となりました。これは主に、仕入債務の減少169百万円があったものの、売上債権の減少826百万円、税金等調整前四半期純利益435百万円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は117百万円（前年同期比82百万円増）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出42百万円、無形固定資産の取得による支出28百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は188百万円（前年同期比14百万円減）となりました。これは主に、配当金の支払額96百万円、長期借入金の返済による支出69百万円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2019年5月13日の「2019年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表しました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,985	4,697
受取手形及び売掛金	8,799	7,979
電子記録債権	1,021	997
商品及び製品	3,398	3,398
仕掛品	50	61
原材料及び貯蔵品	143	120
その他	145	146
貸倒引当金	△59	△55
流動資産合計	17,485	17,345
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,885	2,888
減価償却累計額	△2,152	△2,175
建物及び構築物 (純額)	733	713
土地	1,228	1,228
その他	835	873
減価償却累計額	△717	△749
その他 (純額)	118	123
有形固定資産合計	2,080	2,065
無形固定資産		
その他	87	108
無形固定資産合計	87	108
投資その他の資産		
投資有価証券	3,191	2,214
長期貸付金	16	16
敷金	247	283
その他	509	511
貸倒引当金	△85	△102
投資その他の資産合計	3,879	2,922
固定資産合計	6,047	5,095
資産合計	23,532	22,441

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,674	6,656
電子記録債務	2,904	2,753
短期借入金	127	107
未払法人税等	159	100
未払消費税等	112	93
賞与引当金	221	347
返品調整引当金	68	51
その他	659	515
流動負債合計	10,928	10,626
固定負債		
長期借入金	81	31
繰延税金負債	696	383
退職給付に係る負債	359	364
長期未払金	267	267
その他	890	909
固定負債合計	2,295	1,956
負債合計	13,223	12,583
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,005	1,005
資本剰余金	2,968	2,968
利益剰余金	4,475	4,720
自己株式	△74	△74
株主資本合計	8,374	8,620
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,934	1,246
繰延ヘッジ損益	4	△3
為替換算調整勘定	11	8
退職給付に係る調整累計額	△16	△14
その他の包括利益累計額合計	1,934	1,238
純資産合計	10,309	9,858
負債純資産合計	23,532	22,441

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	21,116	21,841
売上原価	17,039	17,559
売上総利益	4,077	4,282
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	243	265
運賃及び荷造費	400	430
賃借料	129	136
役員報酬及び給料手当	1,324	1,350
貸倒引当金繰入額	21	13
賞与引当金繰入額	296	325
減価償却費	63	63
その他	1,266	1,305
販売費及び一般管理費合計	3,745	3,890
営業利益	331	391
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	37	28
受取賃貸料	9	11
業務受託料	7	5
その他	29	17
営業外収益合計	85	63
営業外費用		
支払利息	0	0
売上割引	18	18
その他	0	0
営業外費用合計	19	19
経常利益	396	435
税金等調整前四半期純利益	396	435
法人税、住民税及び事業税	96	74
法人税等調整額	-	17
法人税等合計	96	92
四半期純利益	300	343
親会社株主に帰属する四半期純利益	300	343

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	300	343
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	396	△687
繰延ヘッジ損益	33	△7
為替換算調整勘定	△4	△3
退職給付に係る調整額	1	1
その他の包括利益合計	428	△696
四半期包括利益	728	△352
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	728	△352

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	396	435
減価償却費	65	66
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	14	13
賞与引当金の増減額 (△は減少)	108	126
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	7	5
受取利息及び受取配当金	△38	△29
支払利息	0	0
売上債権の増減額 (△は増加)	424	826
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△77	12
仕入債務の増減額 (△は減少)	452	△169
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△84	△18
その他	△24	△153
小計	1,244	1,115
利息及び配当金の受取額	38	29
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△20	△123
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,261	1,020
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△31	△42
無形固定資産の取得による支出	△2	△28
投資有価証券の取得による支出	△5	△12
長期貸付金の回収による収入	4	1
定期預金の預入による支出	△300	△300
定期預金の払戻による収入	300	300
その他	—	△36
投資活動によるキャッシュ・フロー	△34	△117
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△100	△69
配当金の支払額	△77	△96
その他	△24	△22
財務活動によるキャッシュ・フロー	△202	△188
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	△3
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,020	711
現金及び現金同等物の期首残高	3,447	3,685
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,468	4,397

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、スポーツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。